

1

森林資源と林業経営

(1) 所管別の森林

ア 森林面積

管内の森林面積は808千haで、全道森林面積の14.6%にあたります。

所管別にみると、国有林57.5%、その他国有林0.4%、道有林14.6%、市町村有林4.2%、その他民有林23.3%となっています（第1図）。

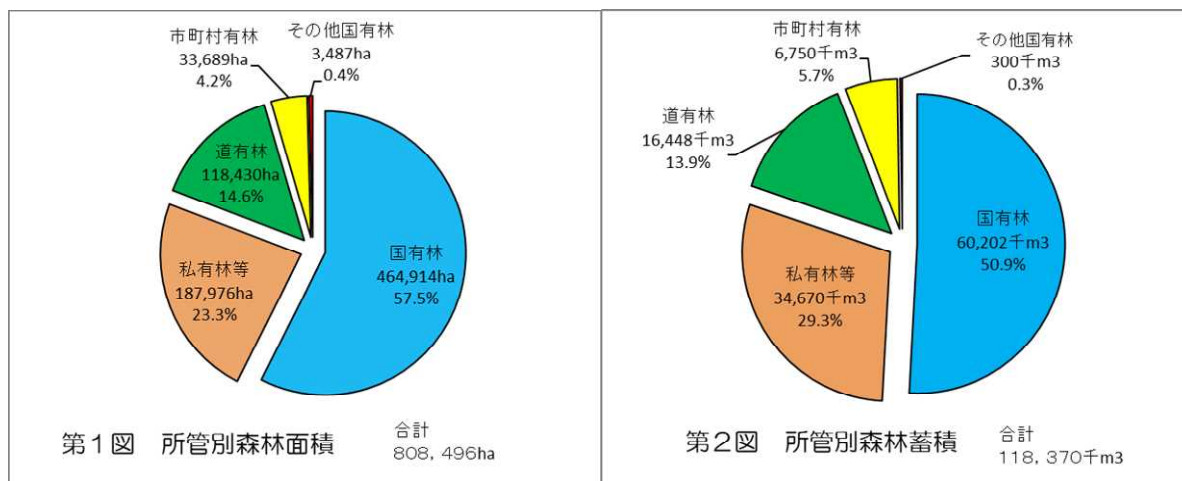
そのうち一般民有林（その他民有林と市町村有林を合わせたもの）の森林面積は222千haで、林種別にみると、人工林36.5%、天然林61.7%、無立木地1.8%となっています。

イ 森林蓄積

管内の森林蓄積は118,370千m³で、全道森林蓄積の13.9%にあたります。

所管別にみると、国有林50.9%、その他国有林0.3%、道有林13.9%、市町村有林5.7%、その他民有林29.3%となっています（第2図）。

そのうち一般民有林の森林蓄積は41,420千m³で、林種別にみると、針葉樹62.4%、広葉樹37.6%となっています。1ha当たり蓄積は187m³で、全道平均の160m³を上回っています。



※(資料)令和3年度北海道林業統計

※ (資料)令和3年度北海道林業統計

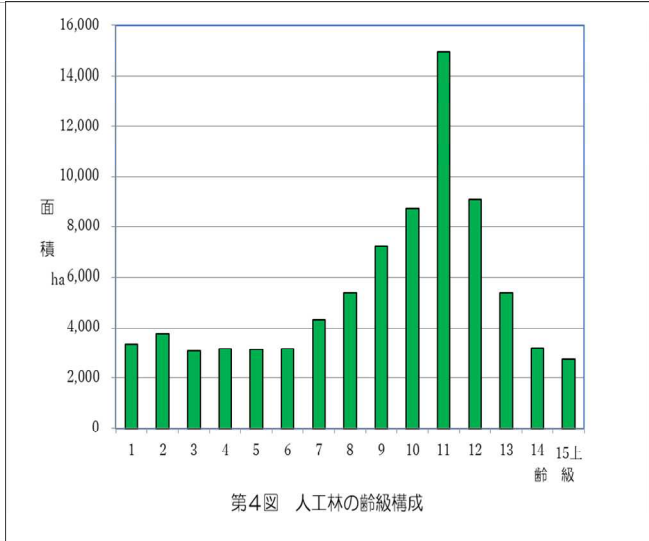
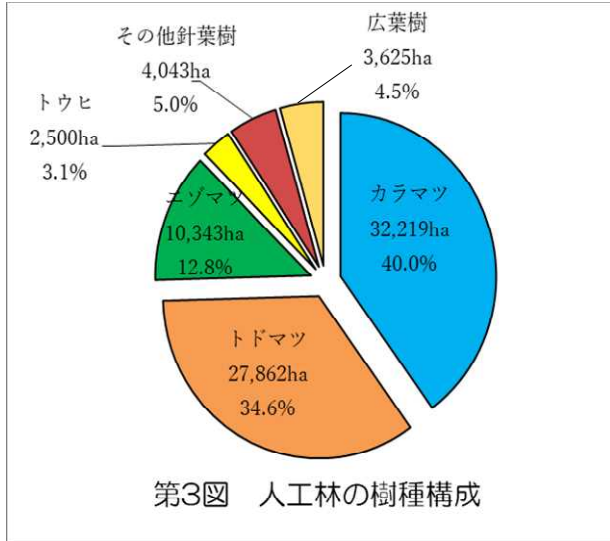
(2) 一般民有林の概要

ア 人工林の樹種構成

一般民有林における人工林の樹種の構成は、カラマツ40.0%、トドマツ34.6%、エゾマツ12.8%、トウヒ3.1%、その他針葉樹5.0%、広葉樹4.5%となっています（第3図）。

また、人工林の齢級構成は第4図のとおり10～12齢級を主体としており、利用期を迎えています。

上川の民有林2023



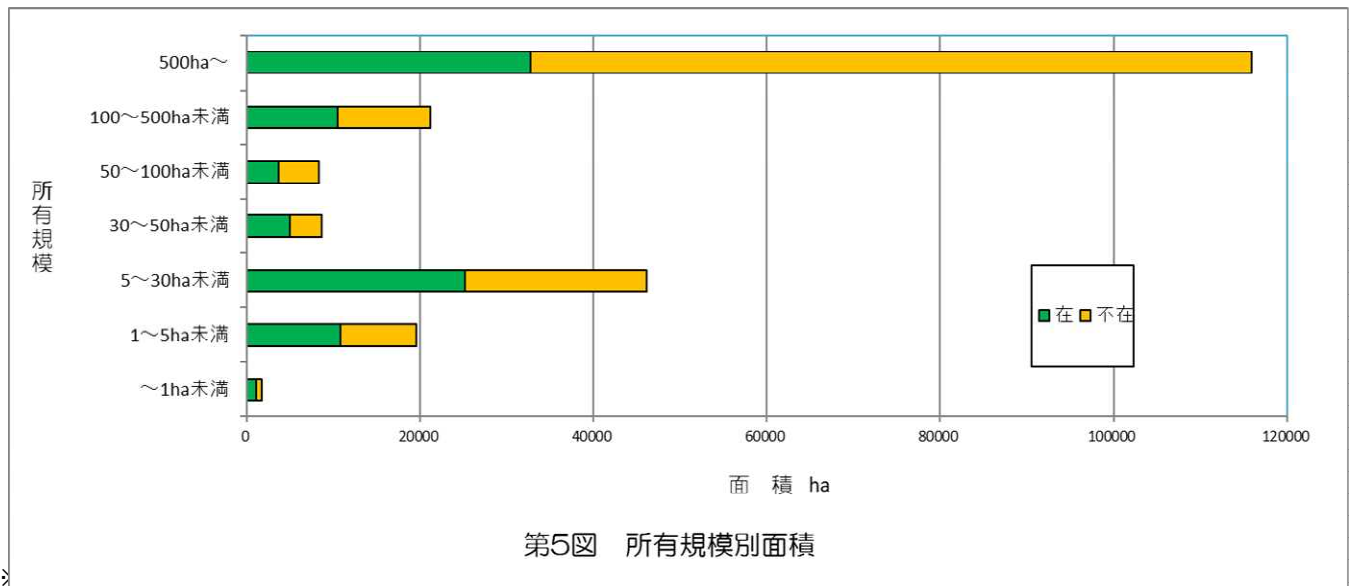
※(資料)道森林計画課(令和4年12月末現在)

※(資料)道森林計画課(令和4年12月末現在)

イ 森林所有

管内の一般民有林所有者数は 15,848 名で、このうち個人所有が 92.6%、特に農業を営む所有者が多く 35.6%を占めています。一方、会社所有は、892 名ですが、面積の 15.9%を占めています。

また、不在村所有者は 42.6%、で、所有面積では 60.0%も占めています (第5図)。



2 一般民有林の森林施業

(1) 人工林の施業

管内の一般民有林の人工林は81千haで一般民有林全体の36.5%を占めており、このうちカラマツが32千ha、トドマツが28千ha等となっており、針葉樹が主体となって植栽されています。

近年の植栽については、多様な樹種が植栽される傾向にあり、グイマツ雑種 F1 や広葉樹の植栽も多くなっています。

資源の齢級構成を見ると、カラマツとトドマツ共にXI齢級（51～55年生）が最も多く、利用期を迎えていることから、計画的な伐採と着実な植林を進めていく必要があります。

(2) 天然林の施業

管内の一般民有林の天然林は137千haとなっており、樹種的にはシラカンバなどのカンバ類、ミズナラ、シナノキ・ニレ等の広葉樹が多く、これにトドマツやエゾマツなどの針葉樹が混交しています。

近年は、天然林の優良大径材の減少などにより若い林分の育成を図る施業が中心で、混みあった林分の密度緩和を行う施業が行われています。

●第1表 樹種別人工造林実績の推移

単位：ha

年度	樹種		カラマツ	トドマツ アカエゾマツ	その他針葉樹	広葉樹	計
	区分						
29	補助		403.78	164.38	91.62	28.24	688.02
	その他						36.51
30	補助		348.96	156.38	96.67	41.88	643.89
	その他						22.43
元	補助		543.07	129.64	96.61	17.80	787.12
	その他						36.09
2	補助		511.39	146.32	106.53	18.38	782.62
	その他						17.65
3	補助		552.55	93.45	45.73	23.81	715.54
	その他						18.56

(注) 区分：その他・・・融資、自力、雇用交付金、機構

※(資料) 令和3年度造林事業実績、造林補助データ

●第2表 樹種別除間伐実績の推移

単位：ha

年度	樹種		カラマツ	トドマツ	その他	計
	区分					
29	公共補助		619.84	498.13	772.71	1,890.68
	その他					701.29
30	公共補助		310.93	204.14	117.81	632.88
	その他					1,145.65
元	公共補助		711.49	536.25	558.28	1,806.02
	その他					853.80
2	公共補助		604.85	449.08	585.62	1,639.55
	その他					337.83
3	公共補助		653.88	585.74	728.21	1,967.83
	その他					533.98

(注) 区分：その他・・・融資、自力、雇用交付金、機構、非公共

※(資料) 令和3年度造林事業実績、造林補助データ

●第3表 更新伐の推移

単位：ha

区分		年度				
		29	30	元	2	3
補	助	18.29	5.57	33.28	2.54	18.26
そ の 他		-	4.97	19.00	29.25	-
計		18.29	10.54	52.28	31.79	18.26

(注) 区分：その他・・・融資、自力、雇用交付金、機構

※(資料) 令和3年度造林事業実績、造林補助データ

(3)これからの森林施業(林業の機械化)

森林資源の質的充実と持続的利用が課題となる一方で、林業採算性の悪化に伴う生産意欲の減退や、林業従事者の減少・高齢化の進行により、森林の適切な整備・管理の遂行が困難になる懸念が生じていることから、低コストで効率的な施業を実現するため、林業経営基盤の強化が求められており、生産性の向上、省力化、労働強度の軽減及び労働安全性の改善を図るため、林業機械化を推進していく必要があります。

このため、昭和50年代後半から従来のチェーンソーやトラクタによる伐出作業システムに代わって、高性能林業機械が導入され、台数が増加しています。高性能林業機械は、トラクタやバックホウ等のベースマシーンに伐倒や集材等を行うアタッチメントを取り付けた複数の機能を有する機械で、作業の効率化とコストの低減が図られます。

●第2表 高性能林業機械の導入台数

単位：台

	ハーベスタ	フォワーダ	フェラーパンチャ	スキツダ	プロセッサ	タワーヤーダ	スイングヤーダ	その他高性能 林業機械	合 計
上川総合 振興局	73	33	29	3	10	0	0	40	188
全道合計	396	148	102	13	107	1	4	200	971

(資料)道林業木材課(令和4年3月末現在)